

平成31年4月26日

ふじみ野市長 高 畑 博 様

ふじみ野市文化振興審議会
会 長 伊 藤 裕 夫

新たな文化施設整備に係る基本構想・基本計画の骨子について
(最終答申)

平成30年10月18日付けふス第295号にて諮問のありました「新たな文化施設整備に係る基本構想・基本計画の骨子」について、中間答申による基本構想の理念を踏まえ、本審議会において慎重に審議を重ねた結果、その内容はおおむね妥当なものと判断し、別紙のとおりとりまとめましたので、最終答申を行います。

なお、（仮称）西地域文化施設については、大井中央公民館と大井図書館の2館の役割を融合した施設と本格的な質の高いホールを整備し、公民館の枠を超えたふじみ野市の生涯学習、文化芸術の総合拠点としての役割を担っていただきたいと考えます。

また、（仮称）東地域文化施設については、基本構想では、改修によりリニューアルを図る方向性で予定していましたが、勤労福祉センターについては、利用者から要望の出ている課題に十分に対応しきれないことが明らかになり、改修計画の中で詳細な調査を実施し、建替えという方向になったのは、良い選択であったと判断しています。

諮問事項の審議にあたりましては、施設利用者を始め、小・中・高校生、社会教育施設の各審議会などから新たな文化施設整備に対する意見・要望等を聴取してまいりました。それらの意見については、基本構想及び基本計画の骨子案に反映させるべく努めてまいりましたが、骨子案に反映できなかった意見等の細部についても、今後作成する要求水準書等に極力反映していただくよう要望いたします。なお、施設の管理運営計画については、新たな文化施設の運営において非常に重要な役割を果たすことになりますので、市民意見を十分に踏まえながら、策定していただくようお願いいたします。

これまで各地域において、長年にわたり郷土の歴史文化や市民文化が築かれてきました。これを未来につなげ、更に発展させていくためには、基本構想に位置づけた基本理念のもと、2つの新たな文化施設が地域をつなぎ、市民の文化芸術、生涯学習及び地域コミュニティの推進拠点となり、「ふじみ野文化」を一体となって創造する役割を担っていくことを期待します。